慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	欧米経済史界の趨勢と其の研究法（上）
Sub Title	
Author	木村, 荘五
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1920
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.14, No.10 (1920. 10) ,p.1447(109)- 1457(119)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19201001-0109

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

鐵道會社の利益が戰前よりも增加すればその過剩利益は或る割合を以て政府と分割して未開地開發に資しなくてはならぬのに、若し利益が戰前よりも減少した場合にはその不利益は全部會社で負擔しなくてはならないから、從て株主の利益が充分に保證されて居らないといふ點である。

右の案に就ては種々の非難がある。交通省參政官たるArthur Neal氏はGeddes案を論じて「現案の期待する利益や可能性を實現せしめ得べき制度としては國有を斷行するか然らずんば戰前通りの私有制度に復歸するかの外には何等の方策の存するあるを知らない」と云つて居る。商業の大中心地では此の案は殆んど何處でも不評を買つて居る、倫敦商業會議所の有力なる一議員は「現在の鐵道制度には改善の餘地があるけれども、交通省案は唯さへ商業社會の不滿を買ひ居れる現狀に更に多大の紛糾を加へるに過ぎない、倫敦の商人は從來その事業を徐々に改良確立し來つた漸進主義に慣れて居るから多年の經驗により今回の交通省案は必ずやその結果として重大なる幾多の困難や輸送上の停滯を來すだらうといふ懸念を抱いて居り、寧ろ現制の下に戰前通りの經營によつて是等の困難は避け得られるものと考へて居る。自分の意見では鐵道は戰前通りの自由制度に歸るべきであつて、交通省は時々事情の有利になる毎に制度の漸進的改善を行ふを可とするものと思ふ」と云つて居る、而して商業社會に於ける多數の人々も亦之と同樣の意見を持つて居るやうである。

歐米經濟史界の趨勢と其の研究法（上）

木村莊五

米國ミネソタ大學教授エヌ・エス・ビー・グラス氏は本年二月ハーヴアート大學發行の The Quarterly Journal of Economics 誌上に於て經濟史の現狀と題し歐米經濟史界の趨勢と其の研究法に就き詳細なる評論を試みたが、同論文は吾々經濟史の研究に多大の興趣を寄する者にとつて斯學に關する近時の消息を傳へ研究上亦參考とすべき點尠からざるを以て以下其の大要を譯出する。

一、過去十年間の研究

最近數年間の經濟史界は他の諸學の研究と等しく世界大戰の餘波として二樣の打擊を蒙り、斯學に關する著述の出版の減少と、少壯有爲の學者若干を戰場の露と化さしむるの損失に遭遇した。又這の間、從來經濟史の分野に貢獻し來つた四大國は其の著名な學者の中尠くとも各一名を自然な原因によつて失つた。即ちルヴァッソール(Levasseur)の有益な著作の長き生涯は此の十年間の始めに方つて終末した。蓋し彼は千八百五十四年以來佛蘭西經濟史に關する吾人の智識に貢獻し來つたが、千九百十二年其の佛蘭西商業史(Histoire du Commerce de la France)の第二卷を印刷に附するの前死去した。彼は生前佛蘭西大學に於て經濟史に關する佛蘭西唯一の講座を占めてゐた。亞米利加に於てはキャレンダー(Callender)が其の初期の著作が約せる學識の成熟を示すに至らずして死んだ、彼は青年學者の典型であり彼の影響は生きてゐる。獨逸は最早其の目前に、彼の影響を廣布し、經濟史に關する更に周到な特殊研究に對する彼の意志を充すべき弟子の一群によつて圍繞されたシュモーラー(Schmoller)の巨大な姿を持たない、

シュモーラーは歴史派經濟學者であつたが彼の研究方法は經濟史に於ける精到なる研究と稱された。アシュレー(Ashley)(註一)ゲイ(Gay)、セリグマン(Seligmann)、及びアンウィン(Unwin)等の學者に及ぼした現代に於ける彼の影響は一代前の政治史界に於けるランケ(Ranke)の影響に比敵するかもしれぬ、しかもランケの著作はシュモーラーのそれよりも更に圓念であるといふのは本當らしい。

註一、經濟史家中の光彩、サア・ウイリアム・アシュレーは千九百十九年四月十日其の經濟史の緒論に關して下の如く書いた、「私の在校中の教養は實にスタッブス(Stubbs)の創設にかゝる牛津歴史學校に於て歴史家としてざあつた。次ぎに若い卒業生として私はアーノルド・トインビー(Arnold Toynbee)の講義にヒドク印象され同氏の下に若干の個人的仕事をした。亦私は偶々クリッフ・レスリー(Cliffe Leslie)の論文集を見附けた、今でも私は其れを以て彼等を讀んだ意識せる精神的喜悦の怪しき白熱を思出す、彼の書は私をして獨逸經濟學者の歴史派について知る處あらしめた、そして私はシュモーラーの著作中(Kleingewerbe)の如き、及びシエーンベルヒ(Schönberg)のZünfteに關する著作中に、私がスタッフから受けた初歩の嗜癖が經濟的興味を以て繼續せられ得る方法の例證を發見した。私はトインビーによつて創造されたとはいはないが兎に角刺戟された、勿論其のすべての裏には私が倫敦の一職工の息子であつて、亦極く眞面目な獨立教派の人々から生れた事實が在ると思ふ、私の初期のすべこの中世研究の究極は經濟的發達の一般的狀態及び殊に其の最近時の消長を闡明する事であつた。

數月前英國經濟史家の巨星たるカンニンガム(Cunningham)が死去した。彼は重要な且つ實に彼の最初の唯一の著作を殘して死んだ、同書英國產業及び商業發達史は千八百八十二年に出版され其の後數年間に非常に流布した、同書は英國經濟史の殆ど全般に亘る第一の教科書であるこのカンニンガムの著書は屢々批評された、蓋し同書は更に進んだ專門的研究の批判に耐へず重大問題の混同あり其他訂正すべき點亦尠くないが、多くの事實を或る因果關係を示すやうに蒐集し殊に右諸事實が、經濟學、政治學及び宗教の並行的研究を加へられたる點に於て有益なる編纂である。而してカンニンガムは千九百十九年二月二十二日自ら次ぎの言葉の中に彼の初期の過程を叙した、「私が經濟史に一身を捧ぐるに至つたのは寧ろ偶然だ、經濟史は最初千八百七十八年から劒橋の歴史科に於て一講座を有したが、同主題に關して教授がなかつたので、歴史科教授會に依つて私が斯學に就いて私の最善を盡すやうに乞はれた。私は多少經濟學の智識があつたので其の歴史を編むために自分の最善を盡し斯學の教科書が非常に必要なのを見て千八百八十年に其れを書かうと努めた、私は諸大家が、私がシャンツ(Schanz)オチェンコウスキー(Ochenkowski)及ブレンタノ(Brentano)と親んだといふ事を引證したのを見るが、然し私の主な個人的な且意識した負債はロッシャー(Roscher)に負ふ處で彼の第十八世紀英國著作家に關する論文は最も教ゆる處が多かつた。私は時事評論家及び其他の者が何をねらつたかを諒解しやうと試み且つ出來る限り其の當時の思想の光明の裡に其の時の事實を讀まうと試みた。」

飜つて合衆國は尙斯學の開拓者數名を有してゐるが殊に合衆國產業史 Industrial History of the United States(1878) を初めて書いたボールス(Bolles)は之よりも先きに計畫した同性質の更に大なる共同著作の失敗した結果此の著作を企てたと言つてゐる、彼は廢趾の裡からすべてを救つた、獨逸には尙ブレンタノとビユヒアー(Bücher)が在る。但しビュヒアーは嚴格に言へば經濟史家ではないが、吾人が興味を以て期待する彼の手記 Lebenserinnerungen の第一卷は間もなく現はれる事だらう、如上の既に死し或は老齢を重ねつゝある史家は早くも其の使命を演了したのであるが彼等の影響は現在に存續して居

る。彼等が其の最盛期に於て爲したる斯の種の研究――廣汎な範圍に亘る精細なる研究は亦實に最近十ケ年間に爲されたのである。

最近公刊された多くの特殊問題の研究に就ては吾人は特に重要な三箇の主題を撰出す事が出來る、即ち構圍(enclosure)資本主義、勞働が其れである。蓋し構圍問題は大西洋兩岸の學者の腦漿を絞り努力を傾倒させたものであるが、それは最近十年間の最も美しき產物の一たるタウネー(Tawney)の著書の中に其の頂點に達した。

ゾンバルト(Sombart)は資本主義に關する研究を歷史的方面へ導いた第一人者であつた。彼は資本主義の起源的研究に道を拓き且つ此の十年間に其の發達の心理的研究に道を拓いた。彼の主要な永久的な著作は他者を刺戟するであらう、而してゾンバルト自身の國に於てはハイネン(Heynen)と殊にストリーダー(Strieder)が吾人の智識に大なる寄與を爲し、英國では此の問題に關しスコット(Scott)及びアンウィン(Unwin)の貢獻を記錄する。

勞働史に至つては今尙開拓期だ、が米國ではコンモンス(Commons)の著書に依つて一歩を進めた。先般歷史協會の開會中經濟史に關する四種の報告の中三箇が勞働者に關するものであつたのは看過すべからざる事實である。蓋し吾人の現在の研究は資本主義と勞働に關する世界の興味を反射してゐる、是等兩者に關する研究が將來數年間の興味の中心を占むべしといふ結論を引く事も避け難い、是等の主題に關して吾人は幾多の研究を必要とする、而して彼等が有益なるためには是近ハンモンズ(Hammonds)に依つて書かれた都市勞働者Town Labourerといふ書物の樣でなく、すべてに先立つて公平であり客觀的でなければならない。

若し人をして最近十年間に出版された秀れた個人の著作を擧げしむるならば彼は、スコットの著初期の株式會社史Joint Stock Company(1910-12出版)三卷、ロイド(Lloyd)の刀物商Cutlery Traders(1913)及びグレー(Gray)の英國田制English Field System(1915)を擧ぐるを餘義なくせらるゝであらう。如上の書物が例證する如く其の進歩は著しい、而もそはいづれも專門の論文的の傾向にあつた。勿論其の反對の極には多少の初歩の且つ一般的叙述を目的とする無數の教科書があるが今吾人は是等を考察の範圍外に置く。

三、經濟史の時代別に依る研究

吾人の見る所によれば經濟史の研究に方つて經濟學者は專ら題目殊に其の最近の發達に興味を持ち、歷史家は歷史のある時期を特殊化する事を好む。歷史家は、かの開闢を以て始まるアダム・アンダーソン(Adam Anderson)の其れの如き古い紀事に對する反動の手段として其の撰擇を行ひ、或は其れが第十九世紀の政治歷史家の稱讃すべき例に倣つたのであるか否かを知らないが、若し後者であつたならば其の模倣家は同時代の外國制度を包括し且つ比較研究を行ふべき筈である。

確に時代別に依る研究はシャンツ(Schanz)ビロー(Below)及びヴィノグラドフ(Vinogradoff)の有力な著書に若干の主張を有するものではあるが、而も之に對する反對があり次第に認識せられて居る、即ち此の時代別に依る研究は少數の學者の手中に於て問題の時代の始と終に石壁を築かしめる。然るに自然及び社會科學の研究が概括されるは獨り發達若しくは進歩の理に由るものなのである。如何に其の理解が不適當であらうとも、其の人自身の研究範圍に於ける發達

の總計を會得する事が專門家の仕事なのだ、其の發達の背後の因果關係を理解する事が其の目的なのだ、然し此の事たる往々彼の到達範圍を超えて居る。

ある著名な亞米利加の經濟學者は其れが現在とは異つて居るといふ事を示すことを除いては如何なる理由を以ても過去を研究する事を賤しめてゐる。彼の主張する處に據れば現制度は過去から生長したものでなく近代に發達した種々なる必要から生じたのである。然るにスタップスは之と全く反對に、即ち現在の根は過去に深く横はつて居ると言つた。すべての經濟史すべての制度史は實に是を立證する。夫の產業革命は單なる社會の早足に過ぎなかつた。恐らく未來の、――農工業に對する市場の影響及び、資本を有する人間が無資產者に對する支配權の擴張等に關する、――研究は詳細の點に於て、產業革命がかの佛蘭西革命の如くに徐々たる進展運動の一繼續であり一抑揚である事を示すだらう。

劃期的な經濟史研究の應用は、其の研究さるゝ時代が政治的である場合に最も惡い、經濟史が一代の政治的傳說を一時に顚覆し得る事は豫期され得ないが、是が其の究竟の目的であるといふ事は理由ある希望なのだ。

三、發生的研究

歷史上の局限された諸時期を取扱ふ歷史家と反對の極に、時をも場所をも知らぬ發生的研究に從ふ經濟學者の多數がある。各研究法の極端は等しく排斥すべきであるが然し發生的研究の利益は餘り明白に立證せられたので之を無視する事は出來ない。如何なる範圍に於ける變化の本體も歷史の階段の形體に非ずして發達のそれに於て重要なるものとして概括され表現され得られる。數頁を以て事實の大冊を說き明かす事が出來る。更に最初から最終までの全局の進展が會得せられ現在と過去とが連絡される。又發生的諸研究は他の間接な興味なき主題に對し酵母を供へるであらう。夫の貨物の交換が、物々交換、貨幣及び信用の三階段を通過し來つたといふヒルデブランド(Hildebrand)の見解は、問題の諸階段を信じない者の研究を刺戟し、尙ほ新說の發見を誘致し、且つ或る人によつては置き誤られたが而も根本的である貨物交換論上に一期を劃した。

然し乍ら如何なる發生的研究家も其の研究法上の一大缺點を認めざるを得ないものがある。即ち發達の經路を遡及する場合、原因の研究上適當なる點に於て終止する事が困難である。農業が經過せし時期を討究するに方つて其の諸變遷を決する諸影響を、例ば食料品に對する都市の需要增加、若しくは田園から其の製出された副產物を奪取する生產上の政策等を忘却するかも知れない。然し研究に先立つて豫め之に備ふる所があつたならば其誤りを防ぐ事が出來る、諸原因を閑却するの罪は寧ろ其の研究の方法にあらずして學者個人の特性にある。

加之發生的研究法には結果の演繹的表現と對照して演繹的研究法に復歸するの危險がある。此の弊害の徵はロイドの「刃物商」の中にある。ハザード孃(Miss. Hazzard)の「マサチューセッツ長靴製造業「Boot and Shoe Industry In Massachusetts)に於ては明かに其の著しきものを見る。即ちロイドは英國に於ける產業發達に就いて既に認識されて居る階段を追ひ、ハザード孃は獨逸史上のそれに密接して研究を進めた。其の明かな危險は如上の歷史的研究が、既に認められたる發達說に對する說明を發見する傾向を生ずべき事である。

發生的研究は常に比較研究と相容れぬ。遠く旅する者は同時に廣い範圍を跋渉する事は出來ない。價値ある比較を行ふ事と、狹い研究に基く一般化の防止とは同時に爲さるゝには適しないのである。ところで宗教及び言語學上の比較研究の成功に對して歴史の比較研究のそれも相並ぶ者で、特にグロッス(Gross)のギルド商人、ハスキンス(Haskins)の那耳曼制度史、マイツェン(Maitzen)及びグレー(Gray)の村落殖民地に關する著述の如きがそれである。然し又或る意味に於て發生的研究は本來比較的である。一の制度を他の制度と比較するのではなくて寧ろ一時代を他の時代と比較するものである。如上の比較に依つて生ずる利益は編史事業に常に隨伴する缺點たる時代錯誤を防止し得る事である。勿論其の理想は生物學者にとつては普通になつて居る比較的及び發生的研究の外見上の對稱を放棄して諸地諸大陸に於ける並行的發達を基礎とする一箇の更に一層大なる發生史を創造する事に在る。近代蠻人の部族的狀態の研究に基く古代羅馬史の研究は比較研究が如何に發生的になりつゝあるかを示して居る。かの世界の邊地にあつて傳道師等が吾人の爲めになしつゝある諸研究も之を組織立て利用する何等かの機關を備へたならば亦この種の研究に貢献する處多いであらう。

此の發生的研究の見地はヘシオド(Hesiod)及びヴァーヂル(Vergil)の昔に遡る事が出來る者であつて、近時に至つてはストーチ(Storch)、リスト(List)、ロッシア、シュモーラー及びビュッヘアによつて經濟的發達に應用された。其れは新舊兩學派に特別の關係なき歴史派經濟學である。其の論理的結果は發生的經濟學若しくは經濟學史である。茲に注意すべきは其れは經濟史でなく且つ決して經濟史として取扱はれ得ない事である。即ち前者は過去に存した學説を取扱ひ、後者は過去の事實を取扱ふのである。然し發生的經濟學は經濟史其者に對して一箇の刺戟たるべく、且つ其れは經濟學者及び社會學者に對し、若し此の研究あらざれば彼等の達する能はざる處にある材料を其の使用に供するに至るのである。往々歴史家は理論家が原始時代から一躍して産業革命を以て始まる時代に論究する事及び其中間に介在する時代の精細な歴史的發展を無視する無頓着を怪むのであるが、恰も發生的經濟學が踏み入るのは此の所である、收約的な精細な歴史的研究と主要な發達の理論的表明との間に失はれた連鎖を供する事即ち之れである。

四、經濟史の內容

次に事實の研究の上に醱酵する理論の結果に對する吾人の信仰が必ずしも當らざる事を告白しなければならない、經濟史は數代の間經濟理論家によつて取扱はれたが斯學は嘗て適當なる內容若しくは經濟學其れ自身の範圍に比較すべき經濟史自身の範圍の解析を進めなかつた。かくして經濟史の內容は千七百五十年をら千八百五十年に至る時代の經濟史家即ちアンダーソン(Anderson)、ギューリッヒ(Gülich)、及びトォレンス(Torrens)の如き歴史家の實績に據つて大體極められたのである、而して正にトォレンスは産業史Industrial History〔千八百四十六年刊行〕を書いた第一人者若しくは第一人者といつて差支へないものであつた。數多の繼承者によつて用ひられた此の産業史なる名稱は大なる意味に於ける産業、換言すれば「生産」に力點を置き「分配」に對しては容る處なきを意味してゐる、かくて經濟史が第十九世紀の後半に於て歴史派經濟學の影響の下に立てる時其處に分配へ向かう若干

の傾向があつた。ソロルド・ロヂアースは賃銀の歴史的研究を爲したが其の承繼者は極めて尠く同一程度の勞働に關する研究は皆無であつた。ステッフェン(Steffen)の著作は構成的若しくは暗示的なものを立證せず、過ぐる世界戰爭の勃發前に方つて「黑死病」以來の英國に於ける賃銀の制限を主題として英獨の雜誌に數篇の論文が現れて、是等は可成り此の問題に關しロヂァースの結論を修正したが而も今日まで論據を頗すまでに達しない。之を要するに歴史派經濟學者と全然區別さるゝ經濟史家は尙ほ未だ「生産」に專ら興味を有して居る。屢々彼等は生産の要素、――純正の土地、勞働、資本及び監理を取扱ふが、而も彼等の專ら興かる所は農業、工業及び商業の如き生産の過程に關してゞあつた、而して是等の問題を取扱ふ上に於ても第十八世紀以來殆ど何等の進歩もなかつた。

加之生産の過程の研究も亦不完全である。集合的生産、經濟的敎養(農業以外の)及び貯藏若しくは時間的効用の生産は一般に無視せられ、最上の場合に於ても僅に輕く取扱はれたるに過ぎない。今や貯藏は商業の三區分の一にして、其の他の二區分とは貨物の運輸と變換とである而して此の二作用は近世の狀態では貯藏若しくは倉庫の充分に發達せる制度なしには大なる範圍に行はれ得ないのである。又吾人は之無くしては農業も工業も行ひ得ないのである。蓋し貯藏の無視は恐らくはこの種の生産に對する中世的態度の殘留である。當時貯藏は無視せられたのみならず罪されたのである。然し近時の發達は吾人に此作用を觀取せしむるに至つたが殊に吾人が市府の倉庫が大なる市場企業の核心となり、地方の穀物倉庫が地方物産の販賣のみならず外部からの供給物を購入するの機關となれるを見れば明かである。（以下次號）

第十九世紀の文明史及び文明史家（下）

間崎万里

二

リールやフライタハやブルクハルトが、文明史を時好に投ぜしむるに及んで、他の作家達も彼等の研究法を一變して新なる領土に着眼するに至つたやうである。グリムとランケに師事して双方より愛寵せられた、ヴィルヘルム・アーノルトは、社會の發展上に於ける法律と經濟の地位の重んずべきことを說き、フリードレンダーは一八六一年に羅馬帝國の文明について無双の活畫を出版し、忽にしてレッキーの合理主義及び道德史に關する諸著が相次いで顯はれた。更に又グレゴロフィウスの『中世期に於ける羅馬市』、サイモンヅの『伊太利に於ける文藝復興』、デル敎授の羅馬の社會に關する著述などが、歴史の概念を豐富にした。知力發展の論述に對しても、ロッシャーとギエルケ、レズリ・スチーヴンとモーレー卿、ハイムとユスチ、ゲオルグ・ブランデスとクノー・フィッシャーによつて貴重なる貢獻がなされた。歴史の研究法を經濟の研究に取入れしことは、社會史に興味を向くることとなつた。ハラムは曾て中世イギリスの村落生活を知り得ざるを遺憾としたのであつたが、ソロルド・ロージャースの研究はイギリス農村の歴史に基礎を作り、カンニンガムはイギリスの經濟的發展を初めて包括的に通査せる書物を書いた。ルヴァシュールは佛蘭西の勞働者階級の運命の研究に長き一生を捧げ、ニッチは伯林大學に於て